

代表質問 市政に対する

ホームページにて代表質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



共創ふくろい
おおた ゆうすけ
太田 裕介 議員



令和8年度予算編成方針を踏まえて

問 厳しい財政状況の中でも、成果重視の観点から政策的予算を確保するための市の基本方針は。

答 財政の厳しい状況下においても、確かな市政運営が図られるよう、全事業の見直しをはじめ、人件費の適正化、公共施設マネジメントの推進、自主財源の確保、受益者負担の適正化の5つの柱を定め、まちづくりの下支えとなる財政基盤の強化に取り組んでいく。こうした取組により捻出した財源の有効活用に向けては、毎年度実施する政策評価を中心に、その方針を定めていく。

子どもが健やかに育つ環境の整備

問 公立小・中学校の適正規模・適正配置に関する指針の策定について取り組むべきでは。

答 児童生徒数のより正確な見込みや、現状の学校の成果や課題、特に小規模校における洗い出しのほか、地域の連携状況の把握や、通学の安全対策など、多方面からの情報を収集し、望ましい学校の姿の検討に着手したいと考えている。

安全・安心に暮らせるまちを目指し、共助の強化を

問 民地などへの内水対策について、補助制度や技術支援などの支援策を講ずる考えは。

答

雨水貯留タンクの普及は、市で取り組む遊水池や家庭貯留施設などと同様に、水をためるという直接的な治水効果とともに、取組を通じて、流域治水への理解が深まるなどの効果も期待できることから、各家庭における雨水貯留タンクの設置に対する補助制度を来年度に創設する。また、タンク設置に伴う補助申請や事前相談の際には、設置方法や管理方法などのアドバイスも行っていきたい。

その他の質問事項

- ・健康寿命の延伸と活力あるスポーツのまちづくり
- ・快適で魅力あるまちづくりに向けて
- ・活力みなぎる産業のまちを目指して
- ・市民がいいきと活躍するまちづくり



雨水貯留タンク

市南部地域の課題

問 本年6月、浅羽海岸の新しい防潮堤が完成した。安心・安全度はどうか。

答 県が静岡モデル防潮堤の整備効果について検証し、津波被害のシミュレーションを行うと伺っている。公表される被害想定の内容について、市民に丁寧に説明していきたい。

問 浅羽東地区の指定避難所では、避難者を収容しきれないことが想定されるがどうか。

答 地域の指定避難所が収容人数を超え、避難できない場合は、安全に避難できる最寄りの指定避難所に避難していただく。

問 国道150号バイパスの整備は、現状どうなっているか。

答 令和4年に県が磐田市内の太田川右岸側で現道を接続させ、それより東側区間の現道を4車線化する整備方針をまとめた。

問 国道150号の4車線化が予定されているが、沿線の土地利用をどう進めるか。

答 策定中の都市計画マスタープランでは、沿線を活力創出ゾーンに位置付けている。引き続き県と連携し、都市計画決定に向けて準備を進めていきたい。
福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス事業の目標未達成の要因と今後の対応は。



市民クラブ
たて いしやす ひろ
立石 泰広 議員



答 現状は、機器の不具合や障害物の堆積により、土砂移動量が確保できていないと伺っている。県は今後、機能回復に向けた対応案と維持管理計画案を、本年度末を目途にまとめることとしている。

中小企業振興

問 小規模事業所のデジタル化・DX化支援はどのように進めているか。

答 専門家の派遣による伴走支援とデジタル機器導入を一体的に支援しており、好事例は共有し、市内事業者への横展開に取り組んでいる。

問 小規模事業者の受注機会拡大のための小規模修繕参加登録制度の現状と方針は。

答 本年度より、小規模修繕の対象とする金額を50万円から100万円に引き上げた。引き続き、制度の周知に努めていきたい。

その他の質問事項

- ・次年度の予算編成方針



浅羽海岸の「静岡モデル防潮堤」